

3月は識字率向上月間です
THE WEEKLY REPORT

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 テーマ

相互の理解と
地域との つながり

2011-2012 年度 RI会長
カルヤン・パネルジー

次回例会予定 3月21日 会員卓話
3月28日 GSE歓迎会

VOL. 49 No.30(通算No. 2311)

2012年3月14日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

会長エレクト研修セミナー報告

青木正弘会長エレクト



「アザラシ」 お別れ遠足上野動物園

写真提供:石塚克己会員

2011-2012年度

会長 大塚 令 昌

幹事 齋藤 広 巳

創立 1963年9月25日

《例 会 場 ・ 例 会 日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事 務 所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

3月は識字率向上月間です
THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.49 No.29(No.2310) 3月7日(水)曇り(司会 染谷正美委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆外部卓話 水海道青年会議所 理事長 須田俊輔様

ビジター

(社)水海道青年会議所 理事長 須田俊輔様

(社)水海道青年会議所 専務理事 石塚様

誕生祝



《会員》山崎善市会員 鈴木茂徳会員 青木全弘会員 染谷正昭会員 亀崎徳彦会員 横山 修会員

《配偶者》山崎会員 横山会員 石塚(克)会員 小島会員 松崎会員

諸報告

雑誌委員会 瀬戸隆海委員長

ロータリーの友3月号の紹介をさせていただきます。

横組み P14～P21 写真 P40～P44 同論・異論

御一読頂ければと思います。

幹事報告 斎藤広巳幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

会長挨拶 大塚令昌会長



皆様3月は識字率向上月間となります。ご協力の程お願い申し上げます。
そして先月2月26日のIM インターシティミーディングにはお忙しいなか多くの会員のご出席をいただきまして、誠に有り難うございました。
本日の卓話には社団法人水海道青年会議所 第32代須田理事長にお願い致しました。理事長後程宜しくお願致します。
そして、IMに出席の出来なかった方がおりますので、簡単にご説明させていただきます。

当日出席者は27名となりました。11時に出発、茨城ゴルフクラブにて昼食後会場の竜ヶ崎ガーデンアルシェに到着。14時よりホストクラブ竜ヶ崎ロータリークラブの柴田様の司会によりまして開会、第7分区渡利ガバナー補佐によって点鐘・開会の辞・国歌斉唱・ロータリーソング・歓迎の辞・来賓紹介・ガバナー挨拶

3月は識字率向上月間です

THE WEEKLY REPORT

拶・IMリーダーの助言にて休憩にはいりました。14時40分より日本原子力研究所OBの島崎様の講演「原子力のことを考える」の題にて講演、終了後 IMリーダーの総評 次期ホストクラブ藤代ロータリークラブの挨拶、閉会の辞・点鐘となり16時30分より懇親会となり17時40分「手に手つないで」斉唱し終了となりましたので、ここにご報告申し上げます。

外部卓話

(社)水海道青年会議所 理事長 須田俊輔様



皆さんこんにちは、社団法人水海道青年会議所 第32代理事長の須田俊輔です。卓話にご招待いただき、誠にありがとうございます。

ロータリークラブ様には1月9月の年2回の通常総会にはお心遣いを頂き、また今年で24回目を迎える、小学生対象のわんぱく相撲水海道場所には毎回ご協賛をいただいております。改めましていつもありがとうございます。本年度も1月通常総会の時にはお忙しい中大塚会長にご出席いただきました。大塚会長様には1年最初の例会新年会例会で一言主神社様で新年のご祈禱を受けさせていただき、気分を新たに一年のスタートをきらせていただきました。また神社の一室を私達の事務所として貸していただいております、日頃よりご協力いただきましてありがとうございます。

まずは私の自己紹介をさせて頂きたいとおもいます。昭和47年生まれ今年40歳になります。青年会議所は今年で卒業になります。現在伯父の経営する須田材木店に勤務しております。私は水海道に生まれ高校卒業までこの街で御世話になりました。そして埼玉の大学を卒業後、東京ですし屋に就職しました。なぜすし屋の道を目指したかと申しますと、すし職人のかっこよく粋な姿に憧れたからです。人形町の小さな店に勤務し、そこで五年ほど御世話になりました。当時経験したことは今仕事をする上で基礎になっている気がします。すし屋の親父さんがいつも言っていた『仕事にほれて、来ていただいているお客さんにもほれなさい』の言葉は今でも心にとめております。すし屋の仕事は朝から、夜最後のお客様が満足してお帰りになるまで勤務時間長く、アパートに帰って寝るだけの生活でしたが、今思い起こすととても楽しく貴重な時間でした。その後高校卒業以来約10年ぶりに水海道に帰ってきて先輩にご紹介いただき、平成17年から青年会議所に入会させていただき本年度平成24年1月より32代目の理事長をさせていただきます。本年度スローガンは『かっこいいJayceeになりましょう』を掲げさせていただきました。アルファベットのJCこちらは青年会議所を指し、スローガンに掲げさせていただきましたJayceeはメンバー一人一人を指します。どれだけ素晴らしい事業を行い発信をしても、それに携わっている会員が魅力的でなければ、多くの方に賛同していただくのは難しいとおもいます。そのため一人一人が日々の努力を惜しまず活動していきましようと言う思いを込めてこのスローガンを掲げさせていただき、今年一年活動させていただいております。

公益社団法人日本青年会議所は1951年昭和26年に発足、本年度は愛媛松山JCの井川直樹会頭を筆頭に約38000人の会員が全国701の青年会議所で活動しています。茨城県には24の青年会議所があり約1000名が活動しています。私共水海道青年会議所は1981年昭和56年に発足、今年度32年目を迎え、18名のメンバーと共に活動しています。月に一度の例会を四つの委員会が持ち回りで担当しています。

本年度は1月に新年会例会を一言主神社様で、通常総会を多くの来賓の方にご出席いただき宝町の野村屋様で開催いたしました。

2月例会はつくばみらい市の立波部屋さんに御世話になり、わんぱく相撲を開催するにあたり、会員が参加する子供たちの気持ちを身をもって味わう為にみんなでまわしを締めて稽古をつけていただきました。自分自身がまわしを締めるのははじめての経験で、戸惑うところもありましたが、力士の皆様が御世話になりまわしを締めていただくと、恥ずかしさはなくなり、神聖な稽古場に入ると、皆さんが真剣に稽古をされていてその雰囲気は圧倒されました。しこの踏み方、すり足を教えていただき、最後には力士の胸をか

3月は識字率向上月間です

THE WEEKLY REPORT

りてぶつかり稽古をさせていただきました、しこを踏むのがとても辛く、翌日は筋肉痛で大変な思いをしましたが、稽古の後にちゃんこをご馳走になり、貴重な経験をさせていただきました。

今年の事業はこれからなので昨年の事業のご紹介させていただきます。

去年は震災の影響で事業がストップまた延期になりました。4月に震災支援といたしまして福島県のいわき市に炊き出しの支援をさせていただきました。いわき市は被害が甚大なわりにはあまり報道されてなく、また原発の影響もあり支援が少ない地域でしたので、避難所になっている四ツ倉高校にカツカレーをお届けさせていただきました。テレビ等で被災地の状況は知っているつもりでしたが、現地に行ってみて改めて震災のひどさを感じるようになりました。いわき市は海岸沿いが壊滅的でした。民家は1階部分がすべて流され、漁船が打ち上げられており、漁港にあった保冷車も斜めになって倒れていました。漁港も壊滅的でした、現在はだいぶ復興されていると思いますが当時はとてもひどい状況でした。

食事を皆さんに喜んで食べていただいた後、避難所になっている体育館に入れてもらい挨拶をさせていただいたのですが、横になっていたお年寄りがわざわざ起きてこちらの代表の挨拶に耳を傾けてくれ、また皆さんから暖かい御礼の拍手を頂いたとき、気持ちがいっぱいになりました。こちらが元気を届けにいかなくてはいけないときにかえって被災者の皆さんに気を使っていたั้งきました。

また去年は三月から相野谷町の田んぼをお借りして小学生を対象に田植え、稲刈り、脱穀、精米とすべてを行い、できたお米を宮城県の被災地亙理町に届けました。小学生に田植え、稲刈りの大変さ、そして食べ物の大切さを伝えたかったのですが、青年会議所のメンバーが食べ物の大切さを改めて感じさせていただきました。稲刈りの後天日で稲を乾燥させましたが、大きな台風によってすべての稲が倒れてしまい、稲穂が水についてしまっは芽が出てしまうので、暗くなってからも車のライトを頼りに稲を干す作業をしたのもいい経験になりました。

このように、奉仕・修練・友情を三信条に掲げる、青年会議所運動は、地域の為、地域の子供たちの為に事業をおこなっていますが、一番大切なものは、会員が事業を行ったときに、何かを学び学ぶ楽しさを知ることだと思います。今年もまだまだ多く学ぶ機会があると思います。

私は現在須田材木店で働いております。木を扱う仕事をさせていただいておりますので、日本の素晴らしい森林資源を有効に使っていただきたいと日々考えております。茨城県南地域を中心に材木店を経営する仲間が集まり、住宅取得者の皆様に木材の良さを伝えるセミナーを月に1度つくば市で開催しています。そこで住宅に使用される柱の値段を皆様に聞くことがあります。皆さん柱の値段おわかりになりますか？杉の柱長さ3メートル太さが12センチ角、1本いくらくらいだと思いますか？木材は野菜と同じく相場が決まるものなので値段の増減はございますが、1本約2000円～3000円程度です。

高いと思われますか？杉の苗木は1本約100円です。仮に1万本を植林したとします。苗木だけで100万円、30年から50年山で下草刈り、枝打ち、間伐をして手間とお金をかけて柱などの製品になるのは一万本のうち2,000から3000本です。その後伐採、製材、運賃を考えるとこれだけ手間隙をかけているので、一本100円の大根よりも材木のほうが安いのではないのでしょうか。

いままでの住宅取得者の皆さんは柱等木材にも興味を持っていらしたと思いますが、残念ながら今日の住宅の取得者は家の構造までお考えならずに、仕上がったデザイン・内装等に興味をもたれる方が多く、木材を扱っているものとしては、一番大切だと思う構造興味をもっていただきたいと思っております。

また私たちの住む茨城県の八溝山系は素晴らしい材料を産出している地域になっております。森に生えている木から建築の材料の柱になったとき気候風土があっている同じ地域で使用するのが一番いいと思います。気候風土に適し私達の健康面にもいい影響をあたえることは今迄の歴史が実証してくれています。どうか皆様もこの地域の木材を多く利用していただきたいと思います。国の政策でも木造の学校等の建物を進んで使うようになってきています、お隣の守谷市の守谷小学校も現在木造で立替工事が行われています。常総市でも元気な子供たちが使用する学校が木造で作られたら素晴らしいと思っています。

3月は識字率向上月間です THE WEEKLY REPORT

みなさん私の左手をご覧ください、ただいま弊社の倉庫の解体中です。こちらは常総市市街地にぎわい再生事業の為に協力させていただきました。もちろん賛否があるのは承知いたしますが、この地域に住んでいる人たちがこの事業に反対したり、水海道はだめとか、後ろ向きな言葉がよく聞かれます。先輩の皆様を前にしておこがましいとは思いますが、同じ水海道を名乗る団体として、お互いに地元を誇りを持ち前向きに活動していきたいと思っておりますので、これからも水海道青年会議所をよろしく願いいたします、第32代理事長の卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました

出席報告 (登坂 寛委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	41名	16名	0名	16名	100.00%

ニコニコボックス 五木田裕一副委員長 入金計 ¥92,000 累計 ¥1,652,000

誕生祝御礼《会員》青木(全)・染谷(昭)・亀崎・鈴木(茂)・山崎・横山 各会員

《配偶者》山崎・横山・石塚(克)・松崎・小島 各会員

須田理事長さん、ようこそ。 中川・長塚・松村 各会員

青年会議所、須田理事長卓話よろしく。 染谷(正)会員

青年会議所須田理事長、石塚専務理事、ご苦勞様です。 鈴木(豊)会員

須田理事長、本日よろしく願います。 染谷(秀)会員

JC須田理事長、卓話期待しています。 瀬戸会員

JC須田理事長、卓話期待しています。がんばって！ 古矢会員

早退します。須田理事長、卓話ががんばって下さい。 登坂会員

IM出席ありがとうございました。 大塚会員

IMお疲れ様でした。 斎藤会員

IMご苦勞様でした。 小島・熊谷会員

IMわすれました。認知症、認定されました。 隅屋会員

IM欠席しました。斎藤幹事さんには大変ご迷惑を掛けました。 飯塚会員

今週末、PETSに参加してまいります。長時間じっとしてられるか心配です。 青木(正)会員

欠席が続きました。 青木(全)会員

2月22日、例会欠席しました。 北村(英)会員

会報委員会 青木清人委員長 松崎隆司副委員長 木幡 浩委員

持続可能な奉仕を

ロータリーの兄弟・姉妹の皆さん、

昨年7月、この雑誌のために初めてメッセージを書いた時、私は「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」といったマハトマ K. ガンジーの言葉を引用しました。それから

3月は識字率向上月間です THE WEEKLY REPORT

の数か月、私はロータリーの世界を旅行し、至る所でロータリアンたちがこの言葉を暮らしの一部にしているのを目にするという素晴らしい機会をもちました。

忘れてはならない持続可能性

前向きな変化を創出するというのは、最も単純に言えば、私たちの知識や資源を使って問題を解決するという事です。しかしながら、現実的で永続的に人道的な問題を解決する方法について語る時、知識やアイデアならびに資源だけでは、十分に確かな結果を出すことができません。私たちは、まさしく重要なもの、すなわち持続可能性ということを忘れてはなりません。

持続可能な問題解決、それは、それを提案し推進したロータリアンたちが立ち去ってもなお機能し続けるものです。もともとはロータリーが始めたプロジェクトであったとしても、地域社会が自分自身の仕事だと考えるようなものでなければなりませんということです。それは当然のことながら、水のポンプの部品が壊れたら、その地域社会の人がロータリーの助けを借りることなく修理を行い、そのポンプをきちんと動き続けるようにするということを意味します。

ニーズをよく理解すること

持続性への第一歩は、ニーズをよく理解することです。例えば、発展途上国では、一般的に調理用燃料が不足しています。多くの地域ではソーラーオーブンは魅力的な解決方法です。安価な上に、エネルギー源はタダで、無公害で、無尽蔵で、しかも、使用法や維持も簡単です。

とはいっても、私たちが地域社会に踏み込み、ソーラーオーブンで問題解決を図ろうとする前に、その地域社会の実情をよく理解しなければなりません。それは、私たちが考える以外の問題点についても考慮するという事です。

彼らの食べ物はソーラーオーブンがつくり出すより高温で調理する必要があるかもしれません。ある地域は風が強くソーラーオーブンが吹き飛ばされてしまうかもしれません。ある地域は伝統的に夜明け前に食事をつくり始めるので、その時間にソーラーオーブンは使えないかもしれません。こういった問題は、皆さんが思いもかけなかったことかもしれませんが、ソーラーオーブンが屋根の接ぎ当てに使われたり、ソーラーオーブンが調理用ではなく家畜の飼料乾燥用に利用されることに、つながりかねないのです。

約束を果たす

私たちが変化を起こそうと試みるなら、「自分の方法がよりいい」というだけでは不十分です。ただ語るだけではなく、自分たち自身の耳や目で確かめなければなりません。もし、私たちが手を差し伸べようとするなら、開かれた心、知恵と献身、さらには約束したことを果たすことによってだけ、他の人々を助けることができるのです。

KALYAN BANERJEE
PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2011 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press **ロータリーの友**

ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
email hensyu@rotary-no-tomo.jp